

令和元年度 第1回未来ビジョン会議 要点記録

- 1 開催日時 令和元年6月4日(火)午後7時から8時30分まで
- 2 開催場所 伊東市役所8階大会議室
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員19人(欠席1人)
市長、若山副市長、中村副市長、教育長、企画部長兼市長戦略監、理事、事務局(行政経営課長、行政経営課長補佐、行政経営課主査、行政経営課主事)
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長挨拶
 - (3) 委員の委嘱
 - (4) 自己紹介
 - (5) 次回テーマについて
 - (6) その他
 - (7) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) 開会
行政経営課長から開会

- (2) 市長挨拶

【市長】

こんばんは。令和元年度の未来ビジョン会議委員に御就任いただき、誠にありがとうございます。ごぞいます。

未来ビジョン会議は、私の公約でございまして、今までなかなか行政に声が届かなかったと思われる若い層、概ね20代から40代の声を集め、政策に反映させるということから始まりました。今年度で3年目になります。引き続きお願いをした方が4名おりますが、初めての方が多いため緊張しているかもしれませんが、ぜひ様々な御意見をいただきたいと思っております。

また、平成29年度から未来ビジョン会議を始めて、これまでの2年間で子育て政策や文化施策、にぎわい創出などをテーマに意見交換を実施しました。会議の中でいただいた意見については、直ちに反映できるものと出来ないものがございしますが、今後も反映できるよう取り組んでまいりたいと考えております。反映した御意見として、最初の年に子育て支援の冊子「みらい」を制作しました。これは、未来ビジョン会議によって提案されたものが採用されました。これまで使用していなかったQRコードを冊子の中に記載し、必要な情報を手軽にスマホで入手できるものを皆さんの御意見の中から採用させていただいたということでございます。反響は、今までこういうものがなかったので、市民の欲しい情報が身近なツールで手に入るという意見をいただいております。まさに皆さんの生の声が反映された、または子育てをしている若い層の期待に応えることができたという実感をした次第でございまして。そういう意味でも、この会議は重要であると考えておりました。これからの本市の未来を担っていく様々な立場にある皆様で

ざいますので、意見をいただく中で私が政策として掲げている伊東の魅力を発信し、文化力を高め、観光の振興と産業の育成によってみんなの夢をカタチにできる未来を拓くまちを皆さんと共に作り上げていきたいと考えております。

ぜひ忌憚のない御意見が出せる場にしていきたいと思います。また、色々な企画も考えております。会議ばかりではなく、親睦会等も企画をしていきたいと思いますので、その際にも御参加いただき、コミュニケーションを取りやすい場も作ってまいりたいと思いますので、どうぞ一年間よろしくお願い申し上げます。

(3) 委員の委嘱

- 小野市長より委員に対し委嘱状交付（省略）

※委員の任期は、令和2年3月31日まで

(4) 自己紹介

- 当局事務局から自己紹介（省略）

【市長】

それでは、座長として会議運営をさせていただきます。御協力お願いします。

最初の会議ですので、まず自己紹介と未来ビジョン会議の名の通り未来の伊東市の姿やまちづくりについて皆様が感じていること、また期待していることなど自由に発言をしていただきたいと思います。緊張されている方もいらっしゃると思いますが、この未来ビジョン会議は私と皆様がざくばらんに意見交換する場にしたいと考えておりますので遠慮なさらずに率直な意見をお願いします。

トップバッターは、A委員お願いします。その後、A委員から時計回りをお願いします。お一人、持ち時間3分以内で発言をお願いします。それではA委員お願いします。

【A委員】

私は、伊東市役所の高齢者福祉課という部署におります。この部署は4年目になります。高齢者福祉課は主に高齢者の方の窓口対応や電話対応などをしていますが、窓口で感じるのが、今、高齢化率が41.8%で高齢者の方が多いなというのと、年齢の割にすごくお元気でしっかりしているし、まだまだ元気でいろんなことができる方々がいっぱいいます。また、色々な教えや御意見もいただいたりしながら、楽しくお仕事をしています。

プライベートでは、子育てを主にしています。小学校と保育園に通う子供がいます。子育てをしていて、やはり伊東の自然環境が魅力的だと思っていて、私は伊東から出たことがないので他市と比べることは難しいのですが、市役所に来庁されたお客様と一緒にエレベーターに乗っていると、4階から上で景色が変わるときにすごいねと言って驚かれたり、喜ばれたりするお客様が多くて、そのような伊東をこれからいろんな人たちに発信していけたらすごく良いんじゃないかなと思っています。

この未来ビジョン会議を通して、自分の子育て経験や仕事の経験を活かせるような発言をしていければなと思っています。よろしくお願いします。

【B委員】

初めまして、こんばんは。東海自動車と言ってもわからないかもしれませんが東海バスですね。東海バスの総務課で勤務をしております。初めてですので自己紹介を行いたいと思います。私生まれも育ちも伊東市でございます。昨年惜しまれながら閉園した竹の台幼稚園を出まして、東小学校、南中学校と市内の高校に行きました。やはり市内高校在学中にどうしても魅力ある東京に行きたいというところで勉強を頑張りましたが、私の頭のレベルでは都内の大学に受かることができず、千葉にある千葉工業大学に進学しまして、その後6年間都内で仕事をしておりました。伊東に帰ってくるきっかけになったのは、都内は満員電車がすごいところとちょうどそのタイミングで付き合っていた彼女にも振られまして、そんなこともあってやはり地元就職したいなというところで地元の就職先を探しましたところ、よいタイミングで東海バスに拾っていただきました。熱海事業所で3年間、現在の総務課に配属して10年間勤務しております。

総務課では法改正がありますので、賃金規定や就業規則とか会社のルールですね、法改正に伴って例えば有給五日間付与しなくてはいけないとか、今年度は働き方改革がかなり頻繁に法改正しておりますので、それらの対応を日々行っております。後は、役員の方の日程調整等々の秘書業務も一緒に行っております。

お昼休みに、会社からなぎさ公園まで毎日歩くのですが、景色もいいし海もあるし、ぼーっとするには最高の場所なんですけど、若い人にとっては私も高校時代どうしても都内に出たかったので刺激がないと感じていると思います。産業も伊東市に帰ってきたい若者が魅力ある産業というところで探すと、あまりありませんので、この未来ビジョン会議で10年計画というような形になっておりますので、10年後の伊東市というところでやはり魅力あるもの、漠然としてこうだとは今言えないんですが、そういうものを提言していけたらいいなと考えております。一年間どうぞよろしくお願い致します。

【C委員】

初めまして。名簿には伊東市体育協会選出となっておりますが、私は伊東市バレーボール協会の一般社会人の部の部長をやっております。スポーツ団体の代表として参加しておりますが、正直バレーボール以外のことは分かりません。ただ一つ言えることは、今若い社会の方がスポーツ離れをしているのではないかと思います。年齢層がどうしても逆ピラミッド型になってきていることと、若い世代が高校卒業した後に伊東から離れて戻ってこないというところがスポーツ人口を減らしているのではないかと思います。若い世代が伊東に戻ってくる、それから伊東から離れないというような方法について、皆さんとお話しできればと思っております。

同じような話になりますが、私は建築内装業の商売をやっております。この業界も若い職人がいません。若い人がこのような商売に就くという機会がないです。今、前のお二人からも話しされたように、伊東はとても住みやすくいいところです。お仕事がないから、伊東から離れて行くというような話も聞きますけれども、決して仕事がないわけではないと思います。ただ、伊東に戻ってきてもらえるようなまちに、これから未来を作っていければと思っておりますので、皆さんと屈託のないお話ができればいいかなと思っております。よろしく申し上げます。

【D委員】

こんばんは。伊東市の地域おこし協力隊をしています。

主な活動は鹿・猪の有害鳥獣捕獲と資源化をやっております。地域おこし協力隊として3年目ですが、1・2年目は主にお肉の活用をやっていました。3年目は、レザー、革の活用を行ってきたいなと思っています。産業課が採って、廃棄していると思うのですが、その活用をできたらと思います。

責任問題等課題はありますが、なにか良いシステムができるといいかなと思います。よろしくをお願いします。

【E委員】

私は大池小学校の母親代表をしております。よろしくをお願いします。

今子供の生活リズムなどの話が家庭教育委員会でも出ていて、ゲームやインターネットが盛んになり、それに関わる問題が結構出されています。

また、他の学校の授業に参加したり、給食のことなど色々なことを家庭教育委員会でやらせていただいています。その中で私がテーマとして出したものがあるのですが、今子育て中で悩みを抱えたり虐待につながってしまいそうな親を助けてあげられるような取り組みを早急に訴えていきたいということを、家庭教育委員会内で話しています。

未来につながる伊東市も良くするために協力できればいいなと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

【F委員】

皆さん初めまして、NPO法人R-SHIPのFと申します。本団体は、基本的には東京に事務所を構えていますが、この度、4月1日からキネマ通りにあるぬくも一るの運営を我々に委託していただくようになりました。また、伊東市の産業課からまちなか賑わい創出事業を委託されて、今一緒にいろんなことを考えながらやっております。

今回この未来ビジョン会議の話をいただいたときに、正直、私も東京の団体ですし、あまり気の利いた事を言えませんが、強めの言葉も言うかもしれないんですけど、いいですかというのを担当者に確認したら「何でも言ってください」と、お墨付きをいただいたので、1年間やっていこうと思っています。

未来を創造して、というところですけども、そもそも私が伊東でこういうことをやりたくなってきたきっかけは、宇佐美に94歳の祖母がおります。未だに、カラオケ教室や卓球教室に通い、最近の悩みは自分より年上がいなくていいことらしいですけど、そんな祖母から昔の伊東は良かったという発言をよく聞きます。私はその伊東を知らないのですが、写真で見る限りの伊東を少しでも取り戻せるような活動をR-SHIPでしていければなと思っていますが、その中で絶対に意識しなければいけないことが一過性じゃなくて恒常性のある賑わいであるということ、観光だけではなくて移住・定住者を増やすということです。また、今の商業高校の生徒とビジネスプラングランプリの相談もしておりますが、高校生や中学生、小学生に至るまで子ども達が色々な夢を持って、想像力を働かせられるような環境を整えてあげたいなと思います。

伊東はすごく良いところだと思いますので、このような活動を始めたのですが、ただやっぱりキラキラしたものに触れる機会がすごく少ないんじゃないかなと、個人的に思っております。なので、B委員の話しでもあったのですが、私も元々宮城県にいらして、それで東京に出て、今東京で働いているような状況です。宮城にいるときはすごい

東京に憧れておりまして、そういう憧れというのが、ひとつのバイタリティになると思っていますので、そのバイタリティや夢とかが子供たちの心の中に届いて、そういうところから活性化に結びついていけばいいなと考えております。1年間よろしく願いいたします。

【G委員】

私は社会福祉法人城ヶ崎いこいの里にあります障害者支援施設碧の園の生活支援をしております。よろしく願いいたします。

私は生まれも育ちも伊東でして、大学4年間だけ東京にいましたが、やはり伊東が好きで戻ってきました。やはり今の状況を自分の仕事に顧みて考えてみますと、障害のある方がどこかにお散歩に行きたいとか、公園に行きたいなっていうときにバリアフリー化まではいかないですけども、知的障害のある方が楽しく公園で過ごせるのだろうかとか、目を向けてみるとまだまだ足りない部分があるのかなって思っております。

また、私は結婚していないので子育てもしておりませんが、やはり障害があるお子様達のお母様方が、困り感を色々抱えていることが目に見えてあります。そのようなところに手助けができればなと思っております。

プライベートに関しましては、私、伊東の山の中に住んでおりまして、一碧湖が近くにあります。自然が豊かですごい良いところなんですけれども、やはりUターン・Iターンの方が非常に少なく、私たちの住んでいる地域も全く人がいなくて過疎化が進んでおります。そういったところでUターンだけじゃなくて、Iターン、若い方だけでなく、色々な世代の方が伊東に魅力を持って伊東に住んでいただけるようなまちづくりができたなら、そして、その手助けが出来たらなと思っております。1年間よろしく願いいたします。

【H委員】

伊豆急ホールディングスに勤めておりますHと申します。伊豆急ホールディングスは、伊豆急グループ9社の一番上のポジションになっております。私の仕事は、伊豆急グループの営業支援とインバウンドと呼ばれます訪日外国人の誘致・誘客を主に行っております。その中で、私がこの会議に入って何かお役に立てることがあるのかどうかはまだ分かりませんが、私の持てる範囲の力で伊東市の活性化に繋げていければなと考えております。

私は、生まれも育ちも伊豆半島の下田市になります。現在、住んでいる場所も下田市なんですけど、伊東市のこの会議で私の期待するところは、今地方行政のほとんどが消滅指定都市とされている中で、やはり伊豆半島東海岸の最大の市であります伊東に、他の地方行政が今後も生き残っていける道筋を示していただいて、伊豆半島のさらなる発展に繋げていければなと考えております。若輩者ではございますが、1年間よろしく願いいたします。

【I委員】

松原でデザイン事務所をやっております。具体的には印刷物やホームページを作成しております。普段、そういう中でクライアントさんの課題や観光客にどうやって喜んでいただけるか、どうやってお客様の目を引こうとかそういったことをお客様と一緒に

に考えて仕事をしております。このような経験を活かしながら、お役に立てるような御意見が出せれば良いなと思っておりますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

【J委員】

私の所属する気鋭の会ですが、市内の経営者及び経営者に準じる人間ということで20代から40代の会員で構成されている会でございます。元々は会員の自己研鑽を目的として作られた会ですが、設立10年を迎え、地域貢献や後継者の育成、3年前からですけれども政策提言として市に我々の考えを届けさせてもらおうかなということで行っております。そのような観点からの意見をこの場で発言させていただければいいのかなと思っております。

これは私個人の課題なんですけれども、気鋭の会として色々な事業を行っております、今回のテーマであるまちづくりというのは、誰がやるべきなんだろうなという疑問が常にございます。それは、行政であるかもしれないし、民間であるかもしれない、行政であればそれは市長が行うか、また市の職員が行うのか、民間であれば市民が行うのか、それとも企業や我々の団体がやるべきなのか、そういった疑問は常に持っております。今回の未来ビジョン会議の中で、回答を自分なりに見つけられればいいのかと思っております。

私個人のことでございますけれども、趣味は見た目で見るとおり食べ歩きでございます。ただ今日はM君がいたのでそのキャラは彼に譲り、別のキャラを考えたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。

【K委員】

市役所の建設課に配属をしております。主な業務は道路や橋梁等の維持・修繕となります。日々業務を行っていく上で大事にしていることは、伊東は観光地ですので景観に配慮して、ただ直すだけではなくて景観に配慮したものを作っていくというのが必出ではないかと考えています。去年からこの会議に参加させていただきまして、色々な人の意見が聞け、業務に活かしていきたいと思っておりますし、景観というのは色々な人の経験や意見を取り入れることがとても大事だと思います。

伊東に行ったらインパクトのある街並みとして何か一つでも皆さんが来て覚えて、帰ってもらえるように作っていただけると思います。そのためにも力になれるように頑張っていきたいと思っております。この機会を通じて皆様の様々な意見を聞かせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【L委員】

伊東商業高等学校のLと申します。よろしくお願いいたします。

この会議に参加して2年目になり、伊東に来て3年目でとても過ごしやすい環境の中で生活しております。学校では地歴公民科を担当しており、昨年度、市長にもお願いをした、高校生ミーティングを本校で実施していただいて、高校生の意見を素直に伝えるということもさせていただきました。高校の代表として来ていますので、高校生の視点からの意見などをぜひ伝えていきたいなと思っております。

また、伊東市総合計画ということで10年後の話になっていますが、10年後の伊東市を盛り上げる中で新構想高も一つの議題になると思いますので、色々な意見を聞いていきたいなと思います。

【M委員】

湯のまちバルの代表として参加しておりますが、青空市やサンデーキネマーケットなどにも参加しております。本業は郵便屋です。観光客によく観光情報を聞かれるので、知らないと紹介できないと思っておりまして、色々な温泉に入ったりしています。1年間よろしく願いいたします。

【N委員】

伊東子育てネットワークゆうから来ました。今年からとなります。よろしく願いします。

子育てネットワークゆうではホームスタート事業という、皆さん少し聞きなれないかもしれないんですけど、静岡県では函南町と伊東市だけが行なっています。今は妊娠中から関わっていますが、子育てによる負担を軽減するために、困り感とかを家に伺って、悩みを共有して、少しだけ子育ての先輩の私たちが一緒に考えるという活動をさせてもらっています。他にも色々な事業をしているので、また機会がありましたら紹介したいと思います。その活動の中で知ったのですが、昨年度、伊東市の出生率が年間300人を切ってしまったという話を聞きました。300人と言うと、私は伊東出身で南中学校卒業なので、教育長が南中学校にいらした時に一学年、300人ぐらいいたのではないかと考えると、あの人数が一年間に赤ちゃんで生まれたんだと驚きました。その赤ちゃん達が育っていく中で、若いお父さん、お母さん世代が子育てで真っ只中の私たちがキラキラして楽しそうに仕事にも子育てにも頑張ってる姿を見てくれることで、私たちみたいに頑張っていけるんだなというモデルと言ったら言い過ぎかもしれないですけど、安心感を持ってもらえるようなまちになってくれたら良いかなと思っています。色々な活動をされてる方とお会いできてとても嬉しいので、これからよろしく願いいたします。

【O委員】

伊豆介護センターに勤めております。

会社から声をかけていただき、参加させていただきました。まだ、会社に在籍して1年足らずで実際介護に関しては、それほど知識がありません。

個人的な話になりますが、私は長野で生まれて15年前に東京に上京し、その後伊東に自分の両親と一緒に引っ越してきました。当時、自営業を営んでいて、去年就職するまで事業を自分で行っていました。今は主人が受け継いで伊豆高原で営業をしております。住んでる場所が、吊り橋のすぐ近くなので観光客や永住されてきた方からお話を聞く機会がありまして、実際良かれと思って来たけれど年を取ったら住みづらいので生まれた場所に帰っていく方を何人も見てきました。

また、幼稚園と保育園と小学校に子供がいます。その周りのお母さんたちも自然があって小さい頃は良いんだけど、中学になったら大丈夫なのかな、そして実際に引っ越しをしていく姿を目の当たりにしている状況です。私も外から来て、すごく素晴らしい自

然で子育てするには最高で、週末はどこに行こうかとワクワクするような場所なんですけど、子供がこれから色々な刺激を受けて行くのに本当にここでいいのかなという疑問も正直抱えている部分もあります。

実際、この先の伊東市ということに関しても自分の意見はまとまっておられませんので、色々な方の意見を聞いて、私自身も伝えていけたらなと思っています。よろしくお願いいたします。

【P委員】

伊東漁業の伊東地区の青年部の部長をさせていただいております。専門は漁業関係です。私個人としては釣り船事業をしております、C委員の話にもありましたが、我々の業界も高年齢化が進んでおまして、30歳で若手どころか40歳で若手と言われるような状況になっております。やはり、若い活力が必要かなと思っています。

また、伊東は観光業がメインとなってまして、我々の1次産業、農業もそうだと思いますが、その辺の需要も観光に左右されていて、漁価も陸送が発達しましてなかなか上がらず、厳しい状況になっております。そんな状況ですので、長期の10年計画を策定するのでしたら、食品のブランド化なども進めていただけるとありがたいなと思っています。

【Q委員】

伊東市役所庶務課に配属しております。入庁して4年目になるんですが、地元に戻って働かせていただいている中で思うことは、総合計画の基本構想とも重なりますが、やはり多くの方に伊東を訪れてもらいたい、また住んでもらいたい、住み続けてもらいたいという思いで働く中で、より一層そういった気持ちが強くなっているところです。

私が現在所属している課では、市民の方々の取り組みやまちづくりに関わるのは各課が取り扱う契約や規則の審査というような形で関わることが多いです。それらを通じて実際に扱う課の職員と話をすることで、市民の方々の声を実際に形にしていく大変さを学んでおります。

直接今の仕事では、市民の声を聞く機会は少ないんですけども、昨年から労働組合の女性部の役員を務めておまして、その中で子育てや女性の働きやすさという声を聞くことが多かったです。そういった面からも、魅力ある伊東というものを作っていけたら良いのかなと思っています。

まだまだ勉強不足なところがございますが、より一層視野を広げて日々の生活の中で気づきを増やせていけたらいいなと思っていますので、1年間よろしくお願いいたします。

【R委員】

伊東市役所のRと申します。私は市役所に入庁してから11年目になります。11年経過しているのですが、実はまだ異動が一回しかありません。1つの課が非常に長いという傾向にあります。前課は庶務課におまして、今は議会事務局というところに配属されています。議会事務局という特性上、市民の方と触れ合う機会がかなり限られてる部署になりますが、市民の代表である議員の皆さんと常日頃触れ合う場所になっております。

そのような中、私が常日頃思うことは、皆さん個性がある方が多く、多様性がある職場であると思っております。また多様性がある中で考え感じるところは、やはり皆さん伊東を良くしようとして、考え、行動に移してるなというところを感じています。皆さん同じ目標にも関わらず、多様性であったり考え方の相違と言った部分で同じ志を持っているのに衝突する部分があるのかなと思います。常に衝突してるわけではないんですけども、職場を通して私が思っていることは、まず他者の意見を聞く、多様性を認める、そして理解に励むといったところを考えて業務に取り組んでおります。

家庭では子育ての真っ最中で、3歳6ヶ月になる息子がおります。なかなか子供は自分の思う通りにはいかない部分がありまして、怒鳴ってみたり、言うこと聞かないとこうするぞ、みたいなことを言って、子育てとしてあまり良いのかどうかというの分かりませんが、多分に漏れず、皆さんの知識をいただいた方が良いのかなと自分でも思っているところでもあります。子育てに追われる毎日ではあるんですけども、自分が子育てに関わってみると、子どもと接することも増えてきました。今まで気が付かなかった、子育ての環境にも興味を持つようになってきました。また、自分と違う立場にいる皆さんの御意見も多様性として伺う中で、自分も意見を発言したいと思っております。伊東の未来と関連がないかもしれませんが、これから1年臨んでいきたいと思っております。よろしく申し上げます。

【S委員】

最後に何を話したらいいか分からなくなってしまいましたが、私もほとんど伊東で過ごしてしまっていて、大学4年間だけ神奈川に行っておりました。伊東に戻り勤めて、まだそんなに経っていません。

すこし前の話しですが、大学生のときにどこ出身と聞かれた際に「伊東だよ」と言うのと「伊東ってどこ」と言われました。「熱海はわかる」と聞くと「熱海は分かるよ、新幹線の駅があるから」と言われるんですね。伊東のことはみんな知らないんだなって、「温泉のあるとこだよね」と言われたりもするのですが、あまりみんな知らないし魅力がないのかなって不安になったときもありました。

私が勤めているあいら伊豆農協は、伊東だけではなくて熱海と伊東の農協でして、今下多賀支店に勤務していますので、熱海の地区の方とも関わっています。実際にお客さんの話を聞いていると、伊東ってそんなに観光盛り上がりがないよねと言われてたりします。やっぱり外から見るとそう見えるのだからって思うこともあります。私は保険の窓口の業務を行っているので詳しいことはわかりませんが、農家の人や中高生達と関わる団体にもおりますので中高生の環境とかもなんとなく話しを聞くことができると思いますので、色々な場所から話を聞いて、みんなが望む伊東の未来像を話せるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

【市長】

皆さん3分以内にまとめていただきましたありがとうございます。

予定より早めに進んでおります。話を伺う中で、皆さんが伊東のことを何とかしようと思ってここに集まっているということだけは共通認識ではないかと思っております。その中でいかに議論を深めて、次期の計画等に反映していくことができるかこれはまた1年間の

テーマとして進めていきたいと思っておりますので、次回からのテーマについて事務局から説明をさせます。

(5) 次回テーマについて

【事務局】

時間の都合上、本日はテーマとその概要を簡単に説明いたします。

配付しております資料の「第5次伊東市総合計画」を御覧ください。今年度は、本市で策定している各種計画の、最上位計画に位置付けられる総合計画をテーマとし、意見交換を行いたいと存じます。総合計画は、将来、本市をどのようなまちにしていくのか、そのためにはどのようなことをしていくのかをまとめたものです。本市の都市計画、観光、福祉、教育などのすべての計画の基本となるもので、いわば本市のまちづくりを進めていくための道しるべとなるものであります。平成23年度からスタートした現在の第4次総合計画は、計画期間が10年間となっていることから、令和2年度をもって、計画期間が満了となります。新たに第5次総合計画を策定するに当たって、令和3年度からの10年間における伊東市の将来像等について、皆様と意見交換をしたいと考えております。このテーマは、昨年度の未来ビジョン会議委員から、本市が今後どのような町になってほしいのか、そのためにどのようなことをしたらよいのか、より長期的な視点に立ったテーマを設定したらどうかという御意見も踏まえたものでございます。意見交換いただく具体的なテーマは次回以降お知らせいたします。

以上で、今年度の未来ビジョン会議のテーマについて説明を終わります。

【市長】

総合計画は本市の未来の姿の指針となるものでございます。これからの伊東を盛り上げていく皆様のような若い世代の意見を反映し策定していきたいと考えております。よろしく願いいたします。

また、会議の冒頭で申し上げましたが机の上で議論するだけではなくて、昨年からは浴衣をなるべく活用するために、観光だけではなくて市民の方も着てみてどんなふうにか、色んな企画を始めました。1年目は周知が行き届かなくて、お得なものも用意したのですが、ここにいらっしゃる方も去年浴衣着たかなって言うを着ていない方も多いと思います。もう2年目入りしましたので、未来ビジョン会議委員の皆さんに積極的に浴衣を活用していただくためにも、第2回、第3回は会議が設定させていますので、夏の間一度、私どもはもちろん、浴衣を持ってない方はレンタルもあります。また、藤の広場を今年から屋台村風にするイベントを色々考えておりますので、活用して飲んだり食べたりしながら親しくなり、その場で意見交換できるような企画をしたいと思っております。それ以外に、昨年も会議の最終盤に入りますとこのまま終わるのは寂しいねって言う中から親睦会もやりました。またそこでコミュニケーションを取りながら素晴らしい意見が聞けましたので、今後計画をしていきたいと思っております。

それでは、予定時刻より早いですが、本日の議題は終了致しましたので、第1回未来ビジョン会議を閉会とさせていただきます。長時間ありがとうございました。今年度よろしく願いいたします。

(6) その他

【事務局から次回の日程について案内】

次回日程 7月8日(月) 午後7時から8時30分まで

以上